SONY

4-156-546-**03**(1)

IC レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IC RECORDER

ICD-UX200/UX300F/UX400F

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらイヤーレシーバーなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

目次

準備

基本の操作

その他の録音操作

その他の再生操作

編集する

FMラジオを聞く

メニューについて

パソコンを活用する

その他

困ったときは

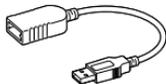
準備1：箱の中身を確認する

本体（1）

表示窓に貼られているフィルムを
剥がしてお使いください。

ソニー単4形充電式ニッケル水素電池（1）

ステレオイヤーレシーバー（1）

USB接続補助ケーブル（1）

お使いのパソコンに本機を直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

キャリングケース（1）

充電式電池用キャリングケース（1）

取扱説明書（1）

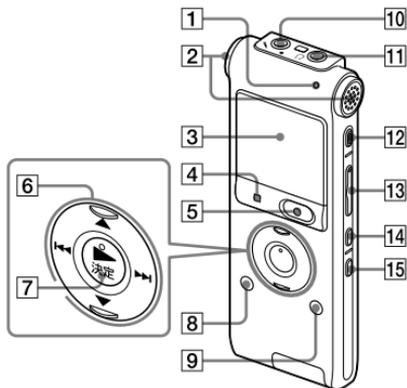
保証書（1）

ソニーご相談窓口のご案内（1）

上手な録音ガイド（1）

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

本体(表面)

1 録/再ランプ

2 内蔵マイク(ステレオ)

3 表示窓

4 ■ 停止ボタン

5 ● 録音/一時停止ボタン

6 コントロールボタン(▲、▼/⏮(早戻し)、⏭(早送り))

7 ►(再生)/決定ボタン*

8 🗀(フォルダ)ボタン

9 メニューボタン

10 🎤(マイク)ジャック*

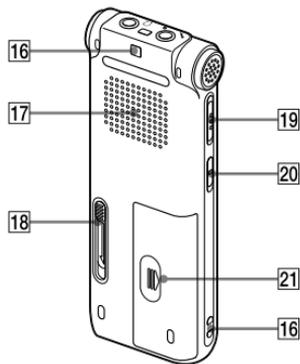
11 🎧(ヘッドホン)ジャック

12 消去ボタン

13 音量+*/−ボタン

14 🔁(リピート) A-Bボタン

15 分割ボタン

本体(裏面)

16 ストラップ取り付け部
(ストラップは付属していません。)

17 スピーカー

18 スライド式USB端子用つまみ

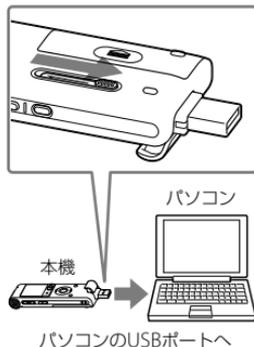
19 ホールド/電源スイッチ

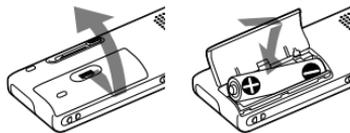
20 DPC(速度調節)スイッチ

21 電池ぶた

* 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

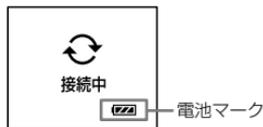
準備2：充電する

表示窓に貼られているフィルムを剥がしてお使いください。
本機を起動しているパソコンと接続して、電池マークが「FULL」になるまで充電してください。
はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「FULL」になるまで連続して充電してください。
電池を使いきった状態から約3時間30分で充電が完了します。*[1]
別売のACアダプター（AC-U50ADなど）を使って充電することもできます。

1 充電池を入れる。

電池ぶたを矢印の方向へずらして開け、単4形充電式ニッケル水素電池（付属）を入れ、ふたを閉めます。

2 USB端子をつなぐ。

裏面のUSB端子用つまみを矢印の方向へスライドして、USB端子を起動しているパソコンにつなぎます。*[2]

パソコンのUSBポートへ

充電中は、「接続中」と電池マークがアニメーション表示されます。

3 本機をパソコンから取りはずす。

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、本機にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

①パソコンで下記の操作を行う。
Windowsの場合：
パソコンのデスクトップ下部で、以下のアイコンを左クリックしてください。

→[USB大容量記憶装置を安全に取り外します]を左クリックしてください。
アイコンの表示はOSの種類によって異なる場合があります。
Macintoshの場合：
デスクトップの「IC RECORDER」のアイコンをドラッグして、「ゴミ箱」アイコンの上にドロップしてください。
パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

②本機をパソコンのUSBポートからはずし、本機のUSBつまみを矢印の方向にスライドしてUSB端子を収納する。

*[1] 室温で電池残量が無い状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、前ページの充電時間と異なる場合があります。また、充電式電池の温度が低い場合や、データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。
*[2] お使いのパソコンに本機を直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

ご注意

電池マークがアニメーション表示されていない場合は、充電されていません。原因／処置については、「故障かな？と思ったら」(95ページ)をご覧ください。

充電済みの充電池、または別売の単4形アルカリ乾電池を使うときは

手順1にしたがって準備します。

ヒント

- 本機にはマンガン電池はお使いになれません。
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても録音した用件やアラーム設定は消えません。
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても約3分間、時計は動いています。

電池を充電／交換する時期

電池の残量が少なくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。

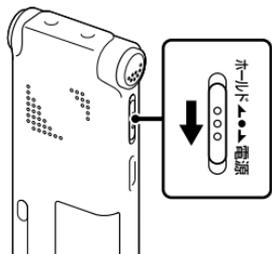
電池の残量表示

：電池の充電／交換時期が近づいています。

↓

：「電池残量がありません」が表示され、操作ができなくなります。

準備3：電源を入れる

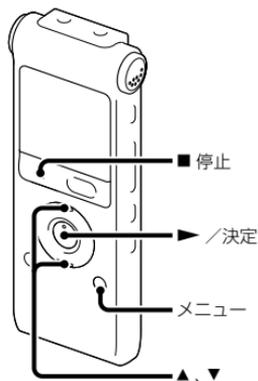
電源を入れるには

ホールド／電源スイッチを「電源」の方向へ1秒以上スライドすると、「アクセス中...」のアニメーションが表示され電源が入ります。

電源を切るには

ホールド／電源スイッチを「電源」の方向へ2秒以上スライドすると、「電源オフ」のアニメーションが表示されます。
しばらくたつと表示が消灯して電源が切れます。

ヒント

- 長時間ご使用にならない場合は、電源を切っておくことをおすすめします。
- 操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時は、設定は10分になっています。）メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます。（72ページ）

準備4：時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、本機の時計を合わせておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま3分以上お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、「時計を設定してください」が表示され、年表示が点滅します。

電池を充電後すぐに時計を合わせる

1 年月日と時分を合わせる。
コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、年、月、日、時、分の順で数字を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

2 停止画面に戻すには ■ 停止ボタンを押す。

メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

1 メニュー画面で「時計設定」を選ぶ。

① メニューボタンを押してメニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

② コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「詳細メニュー」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

③ コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「時計設定」を選び、 ►（再生）／決定ボタンを押す。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「09y1m1d」を選び、 ►（再生）／決定ボタンを押す。

3 年月日と時分を合わせる。
コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、年、月、日、時、分の順で数字を選び、 ►（再生）／決定ボタンを押す。

4 停止画面に戻すには ■ 停止ボタンを押す。

ご注意

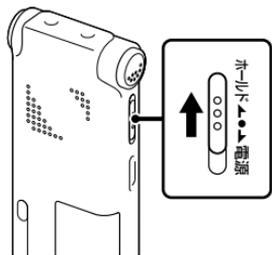
それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、通常の表示に戻ります。

現在日時を表示するには

停止中に ■ 停止ボタンを押すと現在日時が表示されます。

09y 11m 27d
15:30

誤操作を防止する（ホールド）

ボタンを操作できなくするには

ホールド／電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドします。
「ホールド」が約3秒間表示され、すべてのボタンが操作できなくなります。

ボタンを操作できるようにするには

操作できるようにするには、ホールド／電源スイッチを中央位置にスライドします。

ご注意

録音中にホールドにした場合、すべてのボタン操作ができなくなり、誤操作を防止します。録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

ホールド中でもアラーム再生は止められます。

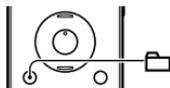
アラーム再生時、どのボタンを押してもアラーム音や用件再生を止めることができます。（通常の用件再生は停止できません。）

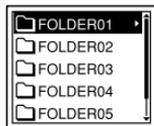
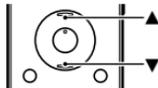
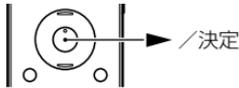
録る

ご注意

録音を始める前に、ホールドを解除して電源を入れてください。

フォルダを選ぶ

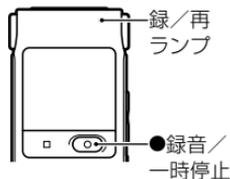
1 （フォルダ）ボタンを押してフォルダ選択画面を表示する。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して録音したいフォルダ（ FOLDER 01 ～ 10）を選ぶ。

お買い上げ時には10個のフォルダが作られています。

3 ►（再生）／決定ボタンを押す。

録音を始める

1 停止中に ● 録音／一時停止ボタンを押す。

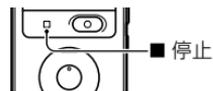
録／再ランプが赤く点灯します。

● 録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

新しい用件は自動的に一番最後に録音されます。

2 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

録音を止める

1 ■ 停止ボタンを押す。

「アクセス中...」のアニメーションが表示され、今録音した用件のはじめで停止します。

アクセス中のご注意

画面上に「アクセス中...」のアニメーションが出ている間は、メモリーへ録音データを記録しています。アクセス中は、電池をはずしたり、USB ACアダプター（別売）を抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

その他の操作

録音を一時停止する*	● 録音／一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、●II（録音一時停止）表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していた用件に続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■ 停止ボタンを押します。）
今録音したばかりの用件を聞く	►（再生）／決定ボタンを押す。 録音が解除され、今録音した用件のはじめから聞くことができます。
早戻し（レビュー）再生する	録音中または録音一時停止中にコントロールボタンの⏮（早戻し）を長押しする。 録音が解除され、今録音したところが早戻し（レビュー）再生されます。⏮（早戻し）を離すと、離したところから再生が始まります。

* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

ヒント

- 本機で録音される用件はMP3ファイルで録音されます。
- ひとつのフォルダには最高99の用件が録音できます。
- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター（32ページ）をしながら録音することをおすすめします。

ご注意

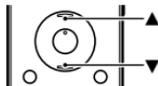
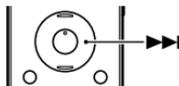
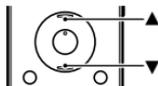
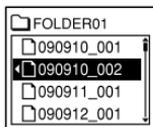
- 録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。
- 録音を始める前に必ず電池残量表示（11ページ）を確認してください。

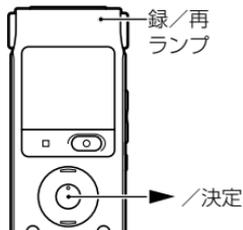
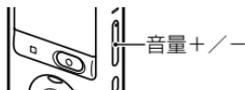
聞く

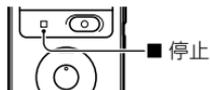
ご注意
再生を始める前に、ホールドを解除して電源を入れてください。

再生を始める

1 (フォルダ) ボタンを押す。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、フォルダを選ぶ。

3 コントロールボタンの ▶▶I (早送り)を押す。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、用件を選ぶ。

5
►（再生）／決定ボタンを押す。

すぐに再生が始まり、録／再ランプが緑に点灯します。
（メニュー「LED」を「オフ」に設定しているときは消灯します（72ページ）。）

6 音量＋／－ボタンを押して、音量を調節する。

再生を止める

1 ■ 停止ボタンを押す。

その他の操作

再生の途中、その位置で停止する	►（再生）／決定ボタンを押す。 もう一度 ►（再生）／決定ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いている用件の頭に戻る	コントロールボタンの ⏮（早戻し）を短く1回押す。*
前の用件、さらに前の用件に戻る	コントロールボタンの ⏮（早戻し）を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して戻ります。）
次の用件に進む	コントロールボタンの ⏭（早送り）を短く1回押す。*
さらに次の用件に進む	コントロールボタンの ⏭（早送り）を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して進みます。）

* メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です（69ページ）。

用件再生時の画面表示について

1 ファイル情報表示

コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して再生中のファイル情報を確認することができます。

本機で録音された用件は、下記のように表示されます。

- フォルダ：フォルダ名を表示：FOLDER01 ～ FOLDER10
- ♫：タイトル名を表示：年月日_番号（090101_001またはFM_090101_001）
- アーティスト：アーティスト名を表示：My Recording
- ファイル：ファイル名を表示：年月日_番号（090101_001またはFM_090101_001）

パソコンでフォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名を変更することができます。

2 カウンタ情報表示

メニューでお好みの表示モードを選ぶことができます(70ページ)。

経過時間：1用件の経過時間

残り時間：1用件の残り時間

録音日付：録音した日付

録音時刻：録音した時刻

3 録音可能時間表示

録音可能時間を時間、分、秒で表示します。

10時間以上の場合：時間

10分以上、10時間未満の場合：時間と分

10分未満の場合：分と秒

消す

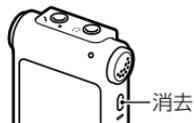
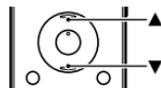
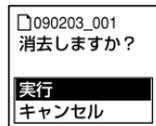
ご注意

- 一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- 消去する前に、ホールドを解除して電源を入れてください。

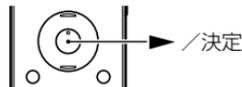
用件を選び消去する

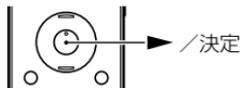
1 停止中または再生中に消去したい用件を選ぶ。

2 消去ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選ぶ。

4 ►（再生）／決定ボタンを押す。

「消去中. . .」が表示され、用件が1件消去されます。

用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

途中で消去をやめる

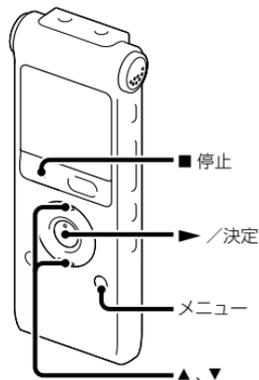
1 「用件を選び消去する」の手順3で「キャンセル」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

他の用件を消去するには

「用件を選び消去する」の手順1から手順4を繰り返します。

ひとつの用件の一部分だけ消去するには

用件分割（52ページ）で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分の用件番号を選んで「用件を選び消去する」の手順1から手順4の操作をします。

録音の設定を変える

録音モードを選ぶ

停止中あるいはFMラジオ受信中にメニューで用途に応じた録音モードを選ぶことができます。

1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「録音モード」を選び、 ►（再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「ST」、「STSP」、「STLP」、「SP」または「LP」を選び、 ►（再生）／決定ボタンを押す。

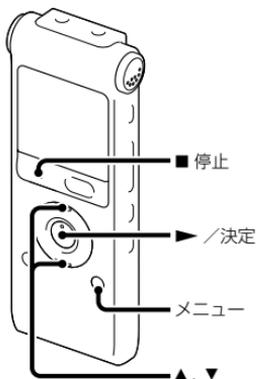
4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ST	ステレオ高音質モード(44.1 kHz/192 kbps) ステレオ音声で高音質な録音ができます。
STSP	ステレオ標準モード(44.1 kHz/128 kbps) ステレオ音声で録音ができます。
STLP	ステレオ長時間モード(22.05 kHz/48 kbps) ステレオ音声で長時間の録音ができます。
SP	モノラル標準モード(44.1 kHz/32 kbps) 標準の音質で録音ができます。
LP	モノラル長時間モード(11.025 kHz/8 kbps) 音質を重視しない簡易な録音、メモ録音はLPモードで長時間お使いになれます。

より良い音質で録音したいときは、STモードまたはSTSPモードをお使いください。
お買い上げ時は、「ST (ステレオ高音質モード)」設定になっています。

ご注意

録音中は「録音モード」の切り換えはできません。

マイク感度を選ぶ

停止／録音時にメニューでマイク感度設定を切り換え、用途に合わせて、内蔵マイクの感度を選ぶことができます。

1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

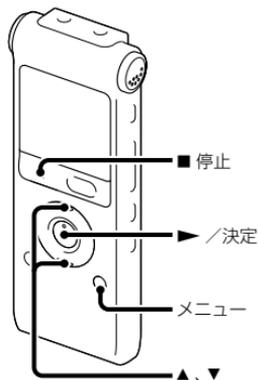
2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「マイク感度」を選び、 ► （再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「高感度 」、「会議 」または「口述 」を選び、 ► （再生）／決定ボタンを押す。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

高感度	広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。
会議	会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。
口述	口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

お買い上げ時は、「会議 」設定になっています。

低い周波数の音をカットする — LCF (Low Cut Filter)機能

停止／録音時にメニューで設定ができます。「LCF(Low Cut)」を「オン」にすると、低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減することで、音声をよりクリアに録音できます。

1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「LCF(Low Cut)」を選び、► (再生)／決定ボタンを押す。

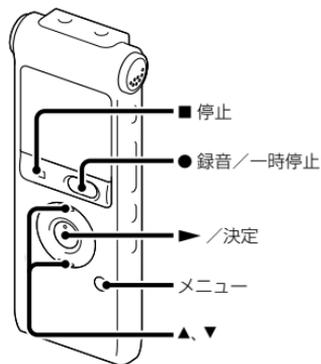
3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、► (再生)／決定ボタンを押す。

お買い上げ時、「LCF(Low Cut)」は「オフ」になっています。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

LCF (Low Cut Filter)を解除するには

手順3で「LCF(Low Cut)」を「オフ」にします。

音がしたとき自動録音する — VOR (Voice Operated Recording)録音

停止／録音時に、メニューで、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように設定することができます。

1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「VOR」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時、「VOR」は「オフ」になっています。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

5 ● 録音／一時停止ボタンを押す。
録音 と VOR が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、VOR と ●II（録音一時停止）が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。
VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

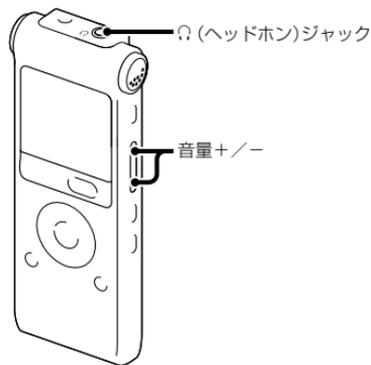
VOR録音を解除するには

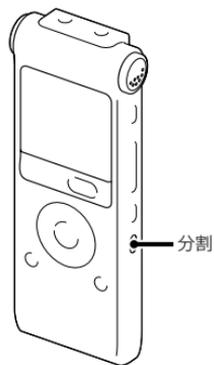
手順3で「VOR」を「オフ」にします。

ご注意

VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。

録音中に操作する

録音中の音をモニターする

ステレオイヤーレシーバーを (ヘッドホン)ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。
イヤーレシーバーからの音量(モニター音量)は、音量+/−ボタンを押して調節します。
録音される音量に影響はありません。

録音の途中で用件を分割する

続けて録音しながら新しい用件として録音することができます。
一度分割すると再結合できません。

1 録音中に分割ボタンを押す。
「分割中. . .」が表示されます。
押したところから新しい用件番号がつき、2つの用件として録音されます。録音は途切れずに続けて録音されます。

用件1	用件2	用件3

▲
用件分割

用件2と用件3は
続けて録音される

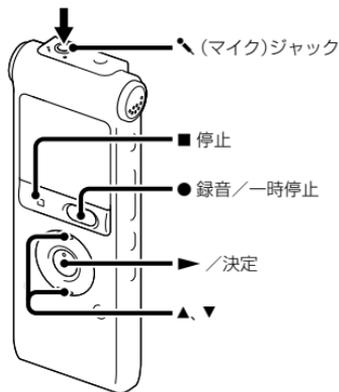
ヒント

録音一時停止中でも用件分割できます。

ご注意

用件を分割した場合、前の用件の最後と後の用件の最初の音がわずかに切れることがあります。

接続して録音する

外部マイクをつないで録音する

1 停止中に外部マイクを (マイク)ジャックにつなぐ。

画面に「外部入力選択」が表示されます。
「外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください(72ページ)。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「MIC IN」を選び、►(再生)/決定ボタンを押す。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音/一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。
入力レベルが適正ではない場合は、本機のマイク感度の設定を変更してください。
プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

お使いになれるマイク

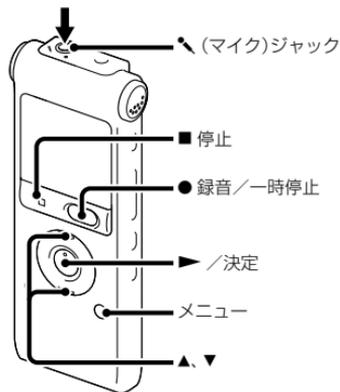
ソニー製エレクトレットコンデンサーマイクロホン(ステレオマイク)ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-DS70P、ECM-DS30P(別売)などをお使いいただけます。

電話機や携帯電話の音声を録音する

別売の電話録音用マイク、ECM-TL1を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。
接続方法などについて詳しくは、ECM-TL1の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 録音する場合には、本機と接続後、通話状態と録音レベルをご確認の上ご使用ください。
- 呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってから本機を録音状態にしてください。
- 電話機の種類、回線の状況によってVOR機能が働かないことがあります。
- 本機を使って通話録音をした場合、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

他の機器の音声を録音する

CDプレーヤーなど他の機器の音声を本機に録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。
- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。

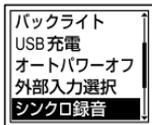
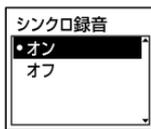
シンクロ録音機能を使って録音する

1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「詳細メニュー」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

保護
用件移動
フォルダ内消去
FM ラジオ
詳細メニュー

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「シンクロ録音」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

バックライト
USB 充電
オートパワーオフ
外部入力選択
シンクロ録音

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、「オン」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

6 停止中に他の機器を本機につなぐ。
他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を別売のソニー製オーディオコード（38ページ）*を使って、本機の🎤（マイク）ジャックにつなぎます。
画面に「外部入力選択」が表示されます。
「外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください（72ページ）。

7 コントロールボタンの▲または▼を押して、「Audio IN」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

8 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

9 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

●II SYNC が点滅してシンクロ録音が一時停止の状態になります。

10 つないだ機器で再生を始める。

録音 SYNC が表示され、シンクロ録音が開始されます。

2秒以上無音の部分が続くと、●II SYNC が点滅して、シンクロ録音が一時停止状態になります。シンクロ録音一時停止状態のときに、次に音を感知したところから新しい用件として、シンクロ録音が再開されます。

ご注意

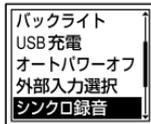
- シンクロ録音中は、分割新規録音（32ページ）や録音一時停止（18ページ）はできません。
- ご使用の機器によっては、音声入力レベルの違いなどによりシンクロ録音機能が正常に動作しない場合があります。

シンクロ録音機能を使わずに録音する

1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「詳細メニュー」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「シンクロ録音」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、「オフ」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

6 停止中に他の機器を本機につなぐ。

他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を別売のソニー製オーディオコード*を使って、本機の（マイク）ジャックにつなぎます。
画面に「外部入力選択」が表示されます。
「外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください（72ページ）。

7 コントロールボタンの▲または▼を押して、「Audio IN」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

8 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

9 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声を録音します。

10 つないだ機器で再生を始める。

*お使いになれるオーディオコード（別売）

	本機側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ（抵抗なし）	ミニプラグ（モノラル）（抵抗なし）
RK-G136	ステレオミニプラグ（抵抗なし）	ステレオミニプラグ（抵抗なし）

ご注意

他の機器の音声を録音する場合はマイク感度の切り替えはできません。

再生の方法を変える

より便利な再生方法

高音質で再生するには

- イヤーレシーバーで聞く：
  付属のステレオイヤーレシーバーを🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
  別売のアクティブスピーカーを🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。

聞きたいところをすばやく探すには —イージーサーチ機能

メニューの中で「イージーサーチ」を「オン」に設定しておくと、再生中にコントロールボタンの ▶▶I（早送り）または I◀◀（早戻し）を何度か押して聞きたいところまで早送り、早戻しをして聞くことができます（69ページ）。コントロールボタンの I◀◀（早戻し）を1回押すごとに約3秒前、▶▶I（早送り）を1回押すごとに約10秒先を再生します。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

- 早送り（キュー）：
  再生中にコントロールボタンの ▶▶I（早送り）を押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：
  再生中にコントロールボタンの I◀◀（早戻し）を押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

💡 最後の用件の終わりまで再生または早送り（キュー）すると

- 最後の用件の終わりまで来ると、「MESSAGE END」表示が約5秒間点灯します。
- 「MESSAGE END」と録／再ランプが消えると、最後の用件の頭に戻って止まります。
- 「MESSAGE END」の点灯中にコントロールボタンの I◀◀（早戻し）を押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。

- 最後の用件が長時間の用件の場合で、用件中の後ろの方を探して再生したい場合は、コントロールボタンの ▶▶I（早送り）を押し続けていったん用件の最後まで早送りして、「MESSAGE END」表示の点灯中にコントロールボタンの I◀◀（早戻し）を押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後の用件以外の場合は、次の用件の頭に送ってから再生中に早戻しするとすばやく探せます。

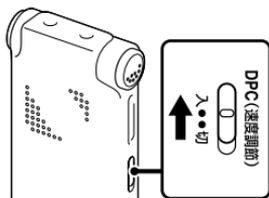
1件リピート再生するには

再生中に ▶（再生）／決定ボタンを長押しします。

「⊊1」が表示されます。

通常再生に戻るには、▶（再生）／決定ボタンを押します。

再生速度を調節する — DPC（デジタル・ピッチ・コントロール）

本体（裏面）

本体（表面）

再生速度を＋100%から－50%の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

1 DPC（速度調節）スイッチを「入」にする。

2 再生速度を速くしたい場合は、再生中にコントロールボタンの▲を押す。

ボタンを押すごとに、−50%〜0%の間は「＋5%」刻み、0%〜100%の間は「＋10%」刻みで再生速度を設定します。

3 再生速度を遅くしたい場合は、再生中にコントロールボタンの▼を押す。

ボタンを押すごとに、−50%〜0%の間は「−5%」刻み、0%〜100%の間は「−10%」刻みで再生速度を設定します。

通常の再生速度に戻すには

DPC（速度調節）スイッチを「切」にします。

ご注意

- 用件がWMA/AAC-LCの場合は、再生速度は0%から−50%の間でしか調節できません。
- 再生中に►（再生）／決定ボタンを長押しして1件リピート再生している場合（40ページ）、またはA-Bリピート再生している場合（43ページ）は、再生速度を調節できません。

再生の設定を変える

再生モードを変える

メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

1 停止／再生時にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「再生モード」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「1」、「🗀」、「ALL」、「🔁1」、「🔁 🗀」または「🔁 ALL」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

1	1件用件を再生する。
🗀	フォルダ内の用件を連続再生する。
ALL	全用件を連続再生する。
🔁1	1件用件をリピート再生する。
🔁🗀	フォルダ内の用件をリピート再生する。
🔁 ALL	全用件をリピート再生する。

必要な部分だけを再生する — A-Bリピート

1 再生中に ⮎(リピート) A-Bボタンを押して、A点を指定する。
「A-B B?」が表示されます。

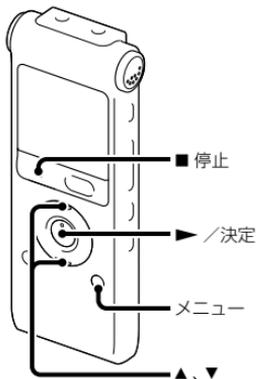
2 もう一度 ⮎(リピート) A-Bボタンを押して、B点を指定する。
「⮎A-B」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには：
►（再生）／決定ボタンを押します。

A-Bリピート再生を停止するには：
■ 停止ボタンを押します。

A-Bリピートの範囲を変えるには：
A-Bリピート再生中にもう一度 ⮎(リピート) A-Bボタンを押すと、手順1に戻り、新しいA点が設定されます。手順2に従ってB点を指定します。

ご注意
A点より前にB点の設定はできません。

雑音を低減して音声を聞きやすくする — ノイズカット機能

録音した音声を聞きやすくするために、音声帯域には影響の出ない低域と高域の雑音を低減します。

1 停止／再生時にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「ノイズカット」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、 ► (再生) ／決定ボタンを押す。

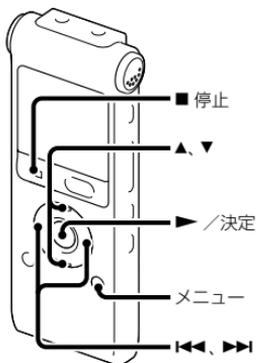
4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

- 録音した音声の状態によって、効果に違いがでる場合があります。
- 内蔵スピーカーで再生している場合やFMラジオ受信中にはノイズカット機能は働きません。

ノイズカットを解除するには

手順3で「ノイズカット」を「オフ」にします。

音質を切り換える

メニューで再生する音楽によって適した効果を設定します。

1 停止／再生時にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「エフェクト」を選び、 ► (再生) ／決定ボタンを押す。

マイク感度
LCF(Low Cut)
VOR
ノイズカット
エフェクト

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、お好みの音質を選び、 ► (再生) ／決定ボタンを押す。

4 「カスタム」を選んだ場合、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押してそれぞれの周波数帯でレベルを調整する。

左右の周波数帯へ移動するには、コントロールボタンの ⏮ (早戻し)または ⏭ (早送り)を押してください。

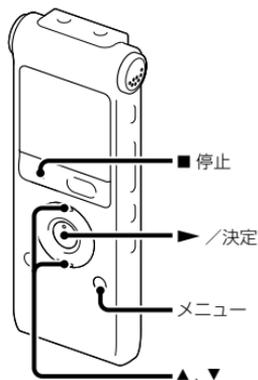
5 ► (再生) ／決定ボタンを押して、カスタム設定を完了する。

6 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ポップス	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ロック	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
ジャズ	高域を強調した張りのある音質になります。
ベース1	低音が強調されます。
ベース2	低音が更に強調されます。
カスタム	5バンドのサウンドレベルを自由に設定できます。
オフ	エフェクト機能は働きません。

ご注意

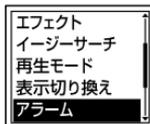
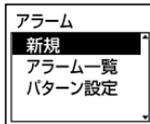
- 内蔵スピーカーで再生している場合やFMラジオ受信中には設定は無効となります。
- ノイズカットが「オン」になっている場合は、エフェクト機能は働きません。

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生できます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。
最大30件まで設定できます。

1 アラーム再生したい用件を表示させる。

2 アラーム設定をする。

① 停止中にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

② コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「アラーム」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

③ コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「新規」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 アラーム再生したい日時、時刻を設定する。

① コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「日時」、「月曜日」や「火曜日」など設定したい曜日、または「毎日」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

②**「日時」を選んだ場合**：
「準備4：時計を合わせる」（13ページ）に従って年月日、時刻を設定します。
「実行中. . .」の表示が出て、設定された内容が表示されます。
曜日や「毎日」を選んだ場合：
コントロールボタンの▲または▼を押して「時」を選び、►（再生）／決定ボタンを押し、同じようにコントロールボタンの▲または▼を押して「分」を選び、►（再生）／決定ボタンを押します。

4 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。
メニューを終了すると「(•)」が表示されて、選んだ用件にアラームが設定されます。

設定内容を変更するには

1 メニュー「アラーム」→「アラーム一覧」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。
アラーム一覧が表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼ボタンを押して、変更したい設定を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

3 コントロールボタンの▲または▼ボタンを押して「変更」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

4 「日時」、「月曜日」や「火曜日」など曜日、または「毎日」など、変更したい項目を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

5 日時と時刻を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。
「実行中. . .」の表示が出て、変更された内容が表示されます。

6 ■停止ボタンを押してメニューモードを終了する。

設定内容を解除するには

「設定内容を変更するには」の手順3で「解除」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定します。▲または▼ボタンを押して「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定するとアラームは解除されます。表示窓のアラーム表示が消えます。

アラームパターンを設定するには

1 メニュー「アラーム」→「パターン設定」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

2 コントロールボタンの▲または▼ボタンを押して「ビープ&再生」「ビープ」「再生」のいずれかを選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

3 ■停止ボタンを押してメニューモードを終了する。

設定した時刻になると

「ALARM」が表示されて、アラーム再生が始まります。
再生が終わると、自動的に停止します（アラームパターンで「ビープ&再生」または「再生」が設定されている場合は、アラーム再生した用件の頭に戻ります）。

アラーム再生された用件をもう一度聞くには

►（再生）／決定ボタンを押すと、その用件のはじめから再生されます。

アラーム再生を止めるには

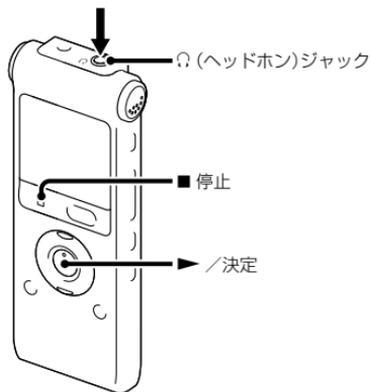
アラーム再生中に音量＋／－以外のボタンを押します。ホールド中は、どのボタンを押しても止められます。

ご注意

- 1件の用件には1個のアラームしか設定できません。
- 時計を合わせていない場合や、用件が録音されていない場合は、アラーム設定はできません。
- メニューで「操作音」を「オフ」に設定していてもアラームが鳴ります（71ページ）。
- 録音中にアラーム設定した時刻になった場合は、「(•)」表示のみが点滅し、録音を終了したときにアラームが鳴り始めます。
- データ更新中にアラーム設定した時刻になった場合は、そのアラームは自動的に破棄されます。
- 2つ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方の用件のみアラームが鳴ります。
- 一度設定したアラームは、アラーム再生を終了した後も解除されません。
- アラーム再生中に別の用件の設定時刻になった場合、用件の途中で次のアラーム再生が始まります。
- アラーム設定した用件を分割した場合、分けた時点より前の用件にのみアラーム設定されます。
- アラーム設定した用件を消去すると、用件に設定されたアラームも一緒に解除されます。

接続して再生する

本機の音声を他の機器で録音する

テープレコーダー、ミニディスクなど

他の機器で本機の音声を録音できます。
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

1 本機の (ヘッドホン)ジャックと他の機器のマイクジャックもしくはラインジャックを、別売のソニー製オーディオコード*を使ってつなぐ。

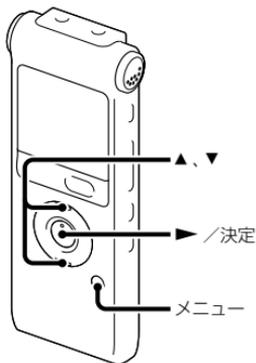
2 本機の ►（再生）／決定ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。

本機の用件が他の機器に録音されます。

3 録音を止めるには、本機の ■ 停止ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

***お使いになれるオーディオコード（別売）**
ラインインを使って接続するときは、次の抵抗なしオーディオコードをお使いください。

	本機側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ（抵抗なし）	ミニプラグ（モノラル）（抵抗なし）
RK-G136	ステレオミニプラグ（抵抗なし）	ステレオミニプラグ（抵抗なし）

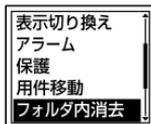
フォルダの中身を一度に消去する

ご注意

フォルダ内の用件に保護設定がされていたら、その用件は消去されません。

1 停止中に消去したい用件の入っているフォルダを選ぶ。

2 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

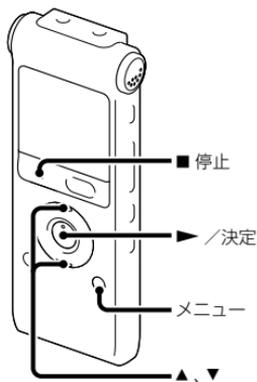
3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「フォルダ内消去」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

「消去中. . .」が表示され、フォルダ内の全用件が消去されます。

5 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順4で「キャンセル」を選び、►（再生）／決定ボタンを押します。

用件を別のフォルダに移動する

ご注意

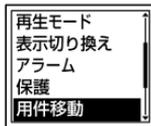
- フォルダ表示が 📁 になっているときは用件の移動はできません(75ページ)。
- 📁 へ用件移動はできません。

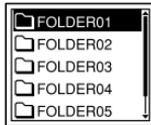
1 移動させたい用件を選ぶ。

2 停止／再生時にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

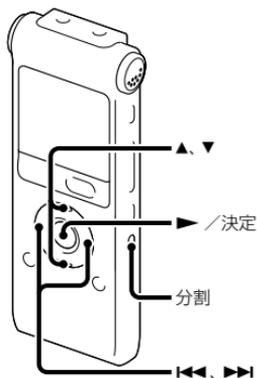
3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「用件移動」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

移動したい用件が再生されます。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、移動先のフォルダを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

「実行中. . .」が表示され、移動先フォルダの最終用件の位置に用件を移動します。移動すると、もとのフォルダからその用件はなくなります。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で用件の移動をやめるには

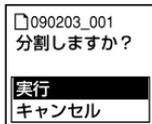
手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

用件をふたつに分ける — 用件分割

再生中に用件を分割して、その場所に新しい用件番号が付けられます。会議など1件の用件が長時間になったときなどに、複数の用件に分割しておくと再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したい用件が入っているフォルダの用件数がいっぱいになるまで、用件を分割できます。

1 再生中に分割ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

「分割中. . .」が表示されて、新しい用件番号がつき、以降の用件番号はひとつずつ送られます。

用件1	用件2		用件3
	▲ 用件分割		
用件1	用件2	用件3	用件4

用件番号が1つずつ増える

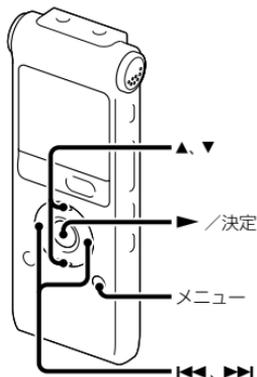
ご注意

- 用件を分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- 用件タイトル、アーティスト名は分割した後ろの用件も同じになります。
- 本機で録音されたファイル以外（パソコンなどで転送したMP3/WMA/AAC-LCファイル）は分割できません。
- 分割した用件は再結合できません。
- アラーム設定した用件を分割すると、分割した後ろの用件にはアラーム設定は残りません。
- システムの制約により、用件のはじめと終わりで用件分割できないことがあります。

用件分割した部分を探して聞くには

分割した用件を1件として用件番号がついているので、用件番号を探すときと同様にコントロールボタンの ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）を押して再生する部分を探してください。

FMラジオの放送局を選局する

（ICD-UX300F/UX400Fのみ）

FMラジオを聞くときは、付属のステレオイヤーレシーバーがFMアンテナの役割をしますので、🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。

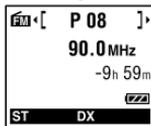
ご注意

FMラジオ受信中は充電ができません。

1 メニューボタンを押してメニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

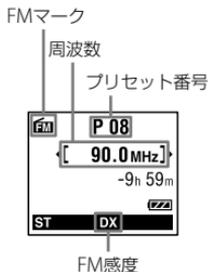
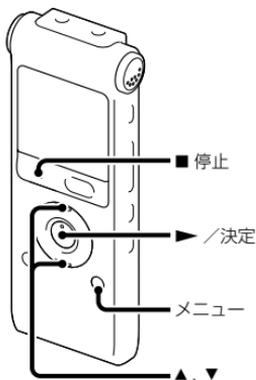
2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「FMラジオ」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

FMラジオモードに入ります。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、周波数選局を選ぶ。

4 コントロールボタンの⏮（早戻し）または⏭（早送り）を繰り返し押して選局する。あるいはコントロールボタンの⏮（早戻し）または⏭（早送り）を、画面上の周波数が変わり始めるまで長押しする。

周波数をスキャンし、放送を受信すると自動的に停止します。

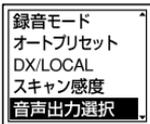
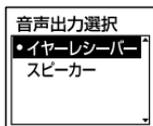
放送を受信できない場合は、コントロールボタンの ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）を1回ずつ繰り返し押してください。

FMラジオ受信時の表示窓

音声の出力先を切り換える

FMラジオ受信中あるいはFMラジオ録音中に、メニューで音声の出力先をスピーカーあるいはイヤーレシーバーへ切り換えることができます。

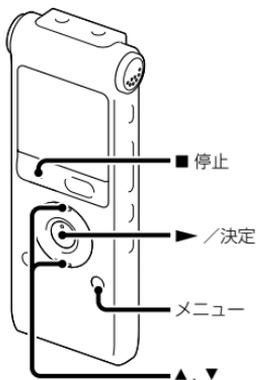
1 FMラジオ受信中あるいはFMラジオ録音中にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「音声出力選択」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

録音モード
オートプリセット
DX/LOCAL
スキャン感度
音声出力選択

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「イヤーレシーバー」または「スピーカー」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「イヤーレシーバー」設定になっています。

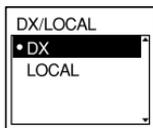
4 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

受信感度を切り換える

FMラジオ受信中に受信感度を設定できます。

1 FMラジオ受信中にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「DX/LOCAL」を選び、 ► （再生）／決定ボタンを押す。

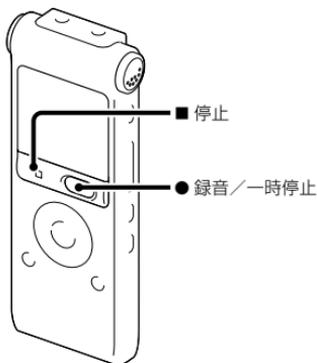
録音モード
オートプリセット
DX/LOCAL
スキャン感度
音声出力選択

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「DX」または「LOCAL」を選び、 ► （再生）／決定ボタンを押す。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

DX	通常はこちらを選択してください。
LOCAL	放送局の送信アンテナ周辺の強電界による混信／つぶれなどがあるときは、こちらを選択してください。

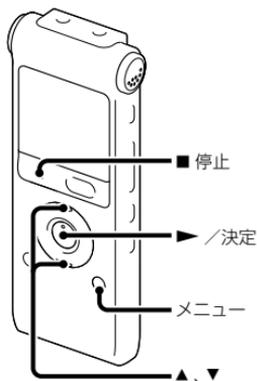
ご注意

弱電界により受信状態が良くないときは、DXのままお使いください。

FMラジオ放送を録音する

1 録音したい放送局を選択する。

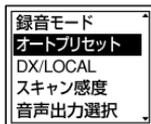
2 ● 録音／一時停止ボタンを押して録音を開始する。

3 録音を止めるには ■ 停止ボタンを押す。

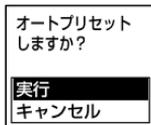
FMラジオ放送を自動でプリセット登録する

プリセットメニューで、FMラジオ放送局を最大30件までプリセット登録することができます。

1 FMラジオ受信中にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。

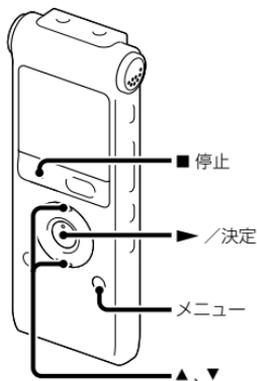
メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「オートプリセット」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

受信可能な放送局をスキャンし、プリセット番号に低い周波数から高い周波数へ順に自動登録します。

オートプリセット実行中、登録予定のプリセット番号が点滅します。

オートプリセットを止めるには

■ 停止ボタンを押してください。■ 停止ボタンを押した時点までに登録したプリセット番号は保持されます。

スキャン感度を切り換える

プリセット時のスキャン感度を設定できます。

1 FMラジオ受信中にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「スキャン感度」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「高(SCAN H)」または「低(SCAN L)」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「高(SCAN H)」設定になっています。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

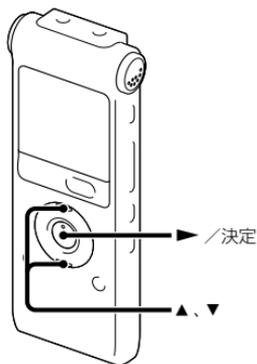
FMラジオ放送を手動でプリセット登録する

FMラジオ放送局を最大30件までメモリーにプリセット登録することができます。

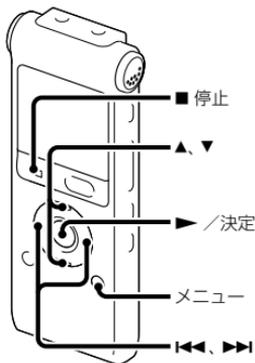
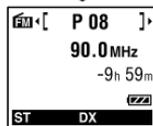
1 プリセット登録したい放送局を選局する。

選局した放送局がプリセット登録されていない場合、「P--」が表示されます。この場合、新たにプリセット登録することができます。

2 ►（再生）／決定ボタンを押す。

プリセット番号と周波数、および「登録しますか？」が表示されます。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

放送局がプリセット登録されます。

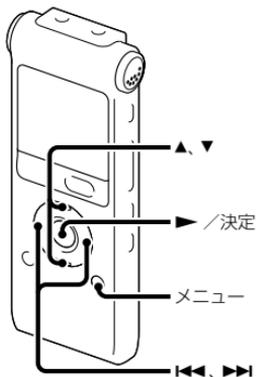
プリセット登録されている放送局から選局する

1 停止中にメニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「FMラジオ」を選び、► (再生)／決定ボタンを押す。
FMラジオモードに入ります。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、プリセット選局を選ぶ。

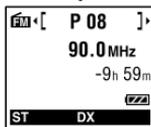
4 お好みの放送局のプリセット番号が表示されるまで、コントロールボタンの ⏮ (早戻し)または ⏭ (早送り)を繰り返し押して選局する。
コントロールボタンの ⏮ (早戻し)または ⏭ (早送り)を長押しすると、プリセット番号が早く変わります。

5 FMラジオを止めるには ■ 停止ボタンを押す。

プリセット登録を消去する

1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

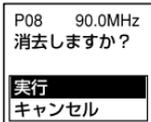
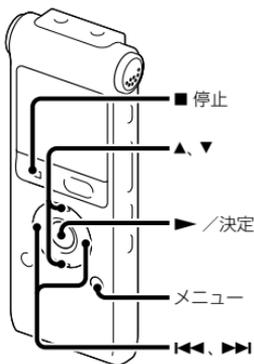
2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「FMラジオ」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

FMラジオモードに入ります。

3 消去したい放送局のプリセット番号が表示されるまで、コントロールボタンの ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）を繰り返し押して選局する。

4 ►（再生）／決定ボタンを押す。

プリセット番号と周波数、および「消去しますか？」が表示されます。

5 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

プリセット番号が「P--」へ変わります。

メニューの使いかた

1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、設定したい項目を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、設定し、►（再生）／決定ボタンを押す。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

約1分間なにもしないと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中にコントロールボタンの
⏮（早戻し）を押します。

メニューモードを中止するには

■ 停止ボタンまたはメニューボタンを押します。

メニュー一覧

メニュー	設定項目	動作モード （○：設定可能／ー：設定不可）				
		停止中	再生中	録音中	FM 受信中	FM 録音中
録音モード	ST、STSP、STLP、SP、LP	○	ー	ー	○	ー
マイク感度	高感度 、会議 、口述	○	ー	○	ー	ー
LCF（Low Cut）	オン、オフ	○	ー	○	ー	ー
VOR	オン、オフ	○	ー	○	ー	ー
ノイズカット	オン、オフ	○	○	ー	ー	ー
エフェクト	ポップ、ロック、ジャズ、ベース1、ベース2、カスタム、オフ	○	○	ー	ー	ー
イージーサーチ	オン、オフ	○	○	ー	ー	ー
再生モード	1、、ALL、1、、ALL	○	○	ー	ー	ー
表示切り換え	経過時間、残り時間、録音日付、録音時刻	○	○	○	ー	○
アラーム	新規、アラーム一覧、パターン設定	○	ー	ー	ー	ー
保護	実行、キャンセル	○	ー	ー	ー	ー
用件移動	移動先フォルダ	○	○	ー	ー	ー
フォルダ内消去	実行、キャンセル	○	ー	ー	ー	ー
FMラジオ*		○	ー	ー	ー	ー
オートプリセット*	実行、キャンセル	ー	ー	ー	○	ー
DX/LOCAL*	DX、LOCAL	ー	ー	ー	○	○
スキャン感度*	高（SCAN H）、低（SCAN L）	ー	ー	ー	○	ー
音声出力選択*	イヤーレシーバー、スピーカー	ー	ー	ー	○	○

* ICD-UX300F/UX400Fのみ

メニュー	設定項目	動作モード （○：設定可能／ー：設定不可） 停止中	再生中	録音中	FM 受信中	FM 録音中
詳細メニュー		○	ー	ー	ー	ー
時計設定	_ _y_ _m_ _d _ _：_ _	○	ー	ー	ー	ー
時刻表示形式	12時間、24時間	○	ー	ー	ー	ー
操作音	オン、オフ	○	ー	ー	ー	ー
LED	オン、オフ	○	ー	ー	ー	ー
バックライト	オン、オフ	○	ー	ー	ー	ー
USB充電	オン、オフ	○	ー	ー	ー	ー
オートパワーオフ	5分、10分、30分、60分	○	ー	ー	ー	ー
外部入力選択	MIC IN、Audio IN	○	ー	ー	ー	ー
シンクロ録音	オン、オフ	○	ー	ー	ー	ー
フォーマット	実行、キャンセル	○	ー	ー	ー	ー

メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
録音モード	音質などを設定します。 ST*：　ステレオ高音質モード STSP：ステレオ標準モード STLP：ステレオ長時間モード SP：　モノラル標準モード LP：　モノラル長時間モード	26
マイク感度	マイクの感度を設定します。 高感度：広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。 会議*：会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。 口述：口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。	27
LCF(Low Cut)	LCF（Low Cut Filter）機能を設定して、低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減することで音声をよりクリアに録音できます。 オン：　LCF機能を設定します。 オフ*：LCF機能を解除します。	29
VOR	VOR（Voice Operated Recording）機能を設定します。 オン：　ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音を一時停止します。● 録音／一時停止ボタンを押して、録音を始めるとVOR機能が働きます。 オフ*：VOR機能は働きません。	30
ノイズカット	ノイズカットを設定します。 オン：　音声帯域には影響の出ない低域と広域の雑音を低減して音声をより聞きやすくします。 オフ*：ノイズカット機能は働きません。	43

メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
エフェクト	再生する音楽によって適した効果を設定します。 ポップ：　中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。 ロック：　低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。 ジャズ：　高域を強調した張りのある音質になります。 ベース1：低音が強調されます。 ベース2：低音が更に強調されます。 カスタム：5バンドのサウンドレベルを自由に設定できます。 オフ*：　エフェクト機能は働きません。 **ご注意** 内蔵スピーカーで再生しているとき、FMラジオ受信中、ノイズカット機能がオンになっているときには、エフェクト機能は働きません。	44
イージーサーチ	イージーサーチを設定します。 オン：再生中、コントロールボタンの ▶▶I（早送り）を押すと、約10秒進め、I◀◀（早戻し）を押すと、約3秒戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。 オフ*：イージーサーチ機能が働きません。コントロールボタンの ▶▶I（早送り）または I◀◀（早戻し）を押すと、用件を早送り／早戻しします。	39
再生モード	再生モードを設定します。 1：　1件用件を再生する。 🗀*：　フォルダ内の用件を連続再生する。 ALL：　全用件を連続再生する ↻1：　1件用件をリピート再生する。 ↻🗀：　フォルダ内の用件をリピート再生する。 ↻ALL：　全用件をリピート再生する。	42

メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
表示切り換え	表示モードを設定します。 経過時間*：1用件の経過時間 残り時間：停止／再生中は、1用件の残り時間 録音中は、録音可能時間 録音日付：録音した日付 録音時刻：録音した時刻	–
アラーム	アラーム再生を設定します。 新規*：アラームを設定します。「新規」を選んだ後で、再生を始める日時や、曜日または毎日再生をする場合の時刻を設定します。 アラーム一覧：既に設定してある日付、時刻を表示します。 変更：選んだ日付、時刻を変更します。 解除：選んだ日付、時刻の設定を解除します。 パターン設定：アラーム設定されているすべての用件のアラーム鳴動パターンを設定します。 ビープ&再生*：ビープ音の後に選んだ用件を再生します。 ビープ：ビープ音のみを鳴らします。 再生：選んだ用件のみを再生します。	46
保護	用件を保護して、消去や分割、移動ができないようにします。 実行：用件を保護します。既に保護されている用件を選んで実行した場合は、保護を解除します。 キャンセル*：保護あるいは保護解除を実行しません。	–
用件移動	選んだ用件を選んだフォルダに移動します。 移動する前に、移動したい用件を選んでから、メニューモードにしてください。	51
フォルダ内消去	選んだフォルダの中身をすべて消去します。 消去する前に、🗀 ボタンを押して消去したいフォルダに切り換えてから、メニューモードにしてください。「実行」を選ぶと消去されます。	50

メニュー	設定項目(*：初期設定)	参照ページ
FMラジオ****	FMラジオモードに入ります。	54
オートプリセット****	受信可能な周波数を自動的にスキャンします。放送局はメモリーに登録されます。 実行：　オートプリセットを実行します。 キャンセル*：オートプリセットを実行しません。	58
DX/LOCAL****	FMラジオ受信中に受信感度を設定します。 DX*：　通常はこちらを選択してください。 LOCAL：放送局の送信アンテナ周辺の強電界による混信／つぶれなどがあるときは、こちらを選択してください。	56
スキャン感度****	プリセット登録時のスキャン感度を設定します。 高(SCAN H)*：スキャン感度を高くします。 低(SCAN L)：　スキャン感度を低くします。	59
音声出力選択****	FMラジオ受信中あるいはFMラジオ録音中に、音声の出力先をスピーカーあるいはイヤーレシーバーへ切り換えることができます。 イヤーレシーバー*：音声はイヤーレシーバーから出力されます。 スピーカー：　音声はスピーカーから出力されます。	55
詳細メニュー		
時計設定	「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせます。	13
時刻表示形式	時刻表示形式を設定します。 12時間：　12：00AM＝真夜中、12：00PM＝正午 24時間*：0：00＝真夜中、12：00＝正午	–
操作音	確認音を設定します。 オン*：操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。 オフ：　操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。 **ご注意** 「オフ」に設定していてもアラームは鳴ります。	–

** ICD-UX300F/UX400Fのみ

メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
詳細メニュー（つづき）		
LED	録／再ランプの点灯、消灯を設定します。 オン*：動作中は録／再ランプが点灯または点滅します。 オフ：　動作中も録／再ランプは点灯／点滅しません。 **ご注意** パソコンに接続しているときは、「オフ」に設定していても録／再ランプは点灯／点滅します。	–
バックライト	バックライトの点灯、消灯を設定します。 オン*：操作をするとバックライトが約10秒間点灯します。 オフ：　バックライトが点灯しません。	–
USB充電	USB接続中の充電のオン／オフを設定します。 オン*：充電式電池を充電します。 オフ：　充電機能は働きません。 **ご注意** 別売のUSB ACアダプターを使って充電するときは、この設定は関係ありません。	9
オートパワーオフ	操作されないまま設定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。 5分：　約5分後に電源が切れます。 10分*：約10分後に電源が切れます。 30分：　約30分後に電源が切れます。 60分：　約60分後に電源が切れます。	–
外部入力選択	マイクジャックから録音する外部入力を選択します。 MIC IN*：　外部マイクをつないだときに選びます。 Audio IN：　オーディオケーブルなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。	34、35

メニュー	設定項目(*：初期設定)	参照ページ
詳細メニュー(つづき)		
シンクロ録音	2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しい用件として録音します。 オン：　シンクロ録音機能を設定します。 オフ*：シンクロ録音機能を解除します。	35
フォーマット	ドライブの初期化を設定します。 実行：　「フォーマット中. . .」が表示され、初期化します。 キャンセル*：初期化しません。 **ご注意** • フォーマットは必ず本機で行ってください。 • フォーマットをすると本機に保存したすべてのデータが消去されます。一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。	–

パソコンにつないで使う

本機とパソコンを接続すると、パソコン側で本機を認識することができ、用件のやり取りが行えます。

用件を本機からパソコンにコピーして保存する(77ページ)

本機にある用件やフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する(78ページ)

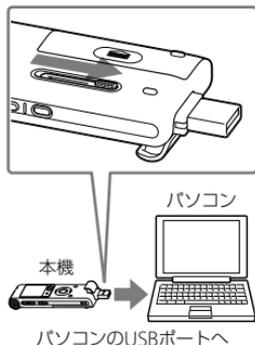
USBケーブルで本機をパソコンに接続して、パソコンに保存してあるMP3/WMA/AAC-LCのファイルをドラッグアンドドロップ操作でコピーして再生することができます。

USBメモリーとして使う — データストレージ機能(81ページ)

パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存することができます。

パソコンに必要なシステム構成

「必要なシステム構成」(86ページ)をご覧ください。

本機をパソコンに接続する

1 本機のスライド式USB端子用つまみをスライドし、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。

2 正しく認識されているかを確認する。

Windowsでは、「マイコンピュータ」または「コンピュータ」を開き、「IC RECORDER」が新しく認識されているかを確認してください。

Macintoshでは、デスクトップに「IC RECORDER」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

接続するとパソコン側で本機を認識することができ、用件のやり取りが行えます。
接続している間は本機の表示窓に「接続中」の表示が出ています。

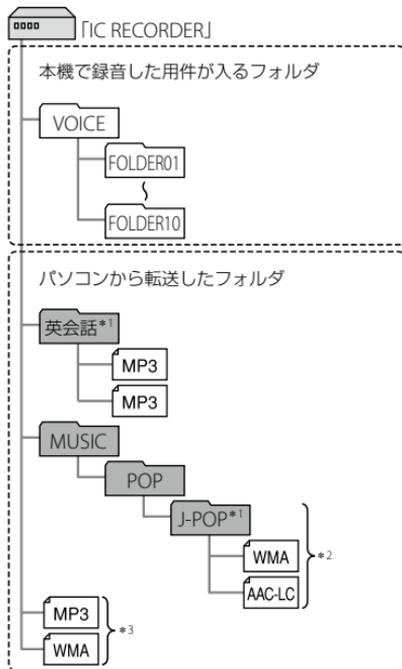
本機がパソコンのUSBポートに直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

USB接続補助ケーブル

ご注意

- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- 付属のUSB接続補助ケーブル以外のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコン接続時は必ず電池を挿入してからお使いください。
- パソコンとは必要なときだけ接続することをおすすめします。パソコンを使って操作しないときは、本機ははずしておいてください。

フォルダとファイルの構成

本機をパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。

パソコンの画面で見ると図のように表示されます。
フォルダの違いは、本機の表示窓に表示されるフォルダ表示で区別できます。

- 🗀：本機で録音した用件が入るフォルダ（お買い上げ時に作成されています。）
- 🗀：パソコンから転送したフォルダ（パソコンから転送したときに表示されます。）

ご注意

本機で録音可能なフォルダは最大10フォルダ（FOLDER01 ～ FOLDER10）です。

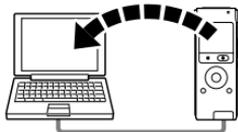
＊[1] 音楽ファイルが保存されたフォルダ名は本機でも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。（図は、フォルダ名称の例です。）
＊[2] 音楽ファイルを認識できるのは、本機にコピーしたフォルダの8階層目までとなります。
＊[3] 音楽ファイルを単独でコピーすると「未分類」のフォルダとして扱われます。

ヒント

- パソコンでフォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名を変更することができます。
- 本機では、音楽ファイルに登録されているタイトル名やアーティスト名などの情報を表示することができますので、音楽ファイルを作成するソフトやパソコンで情報を入力しておくと便利です。
- 音楽ファイルを再生中にコントロールボタンの▲または▼を押すと情報が切り換えられます（22ページ）。

ご注意

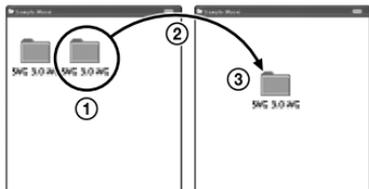
- システム制約により、パソコンで「IC RECORDER」を開いてすぐの場所（ルートディレクトリ）には511個（VOICEフォルダを除く）以上のフォルダまたはファイルを転送することはできません（ICD-UX200のみ）。
- タイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、「Unknown」と表示されます。

用件を本機からパソコンにコピーして保存する

本機にある用件やフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。

1 本機をパソコンに接続する(74ページ)。

2 保存したい用件やフォルダをパソコンにコピーする。

「IC RECORDER」に入っている用件やフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

用件やフォルダをコピーする（ドラッグアンドドロップ）

①コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
②保存先まで移動(ドラッグ)して、
③はなす(ドロップ)

3 本機をパソコンから取りはずす(82ページ)。

CDを作成したい場合は、市販の、あるいはお使いのパソコンに標準インストールされているライティングソフト、またはメディアプレーヤーをお使いください。
ライティングソフトやメディアプレーヤーの操作方法は、その製品付属の取扱説明書をご覧いただくか、ライティングソフトやメディアプレーヤーのメーカーまでお問い合わせください。

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する

パソコンにある音楽(語学)ファイル(MP3/WMA/AAC-LC*)を本機にコピーして再生することができます。
お使いのパソコンにインストールされているプレーヤーソフトなどでMP3/WMA/AAC-LCファイルを作成することができます。

* 本機で再生可能なファイル形式については、「主な仕様」(86ページ)をご覧ください。

パソコンにある音楽ファイルを本機にドラッグアンドドロップしてコピーする

1 本機をパソコンに接続する(74ページ)。

2 パソコン内の音楽ファイルが入っているフォルダを本機にコピーする。

WindowsではExplorerを使って、MacintoshではFinderを使って、音楽ファイルが入っているフォルダを「IC RECORDER」にドラッグアンドドロップします。
本機では最大500個のフォルダまで認識できます。1個のフォルダには最大999件のファイルを、またフォルダ全体では最大5,000件のファイルまで入れることができます。

3 本機をパソコンから取りはずす(82ページ)。

4 🗀(フォルダ)ボタンを押す。

5 コントロールボタンの▲または▼を押して、音楽ファイルを入れたフォルダ(🗀)を選び、コントロールボタンの▶▶I(早送り)を押す。

6 コントロールボタンの▲または▼を押して再生したい音楽ファイルを選ぶ。

7 ►（再生）／決定ボタンを押して再生を始める。

8 再生を止めるには ■ 停止ボタンを押す。

パソコンにある音楽ファイルを本機に転送して再生する場合の最大再生時間（曲数*）は下記のようになります。

	48 kbps	128 kbps	256 kbps
ICD-UX200	89時間15分（1,338曲）	33時間25分（501曲）	16時間40分（250曲）
ICD-UX300F	178時間40分（2,680曲）	67時間（1,005曲）	33時間25分（501曲）
ICD-UX400F	357時間35分（5,363曲）	134時間5分（2,011曲）	67時間（1,005曲）

* 1曲4分のMP3ファイルを転送した場合

ご注意

パソコンを使って、本機に転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつ本機にコピーすると、表示、再生の順番を転送順に合わせることができます。

音楽再生時の画面表示について

コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して再生中の音楽ファイルの情報を確認することができます。

：フォルダ名を表示
：タイトル名を表示
：アーティスト名を表示
：ファイル名を表示

ヒント

パソコンでフォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名を変更することができます。

音楽再生をより楽しむために

再生方法を変える（再生モード）

メニューで用途に応じた再生モード（1件用件再生、フォルダ内の用件連続再生、全用件連続再生、1件用件リピート再生、フォルダ内の用件リピート再生、全用件リピート再生）を選ぶことができます。詳しくは42ページをご覧ください。

再生速度を調節する

再生速度を＋100%から－50%の間で調節できます。ただし、音楽ファイルがWMA/AAC-LCの場合は、再生速度は0%から－50%の間でしか調節できません。詳しくは40ページをご覧ください。

音質を切り替える

メニューで再生する音楽によってノイズをカットしたり、適した効果（ポップス、ロック、ジャズ、ベース、カスタム）を設定します。詳しくは43ページおよび44ページをご覧ください。

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生

あらかじめ設定した時刻に音楽ファイルを再生できます。詳しくは46ページをご覧ください。

USBメモリーとして利用する — データストレージ機能

本機とパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にある本機で録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルを本機に一時保存できます。
USBメモリーとして使うためには、一定の条件を満たしたシステム構成のパソコンが必要です。
OSの条件については、「必要なシステム構成」（86ページ）をご覧ください。

本機をパソコンから取りはずす

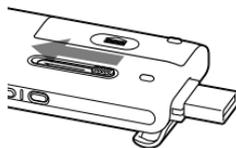
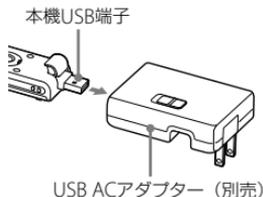
必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

1 録／再ランプが消えていることを確認する。

2 パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：
パソコンのデスクトップ下部で、以下のアイコンを左クリックしてください。

→[USB大容量記憶装置を安全に取り外します]を左クリックしてください。
アイコンの表示はOSの種類によって異なる場合があります。
Macintoshの場合：
デスクトップの「IC RECORDER」のアイコンをドラッグして、「ゴミ箱」アイコンの上にドロップしてください。
パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

3 本機をパソコンのUSBポートからはずし、本機のUSBつまみを矢印の方向にスライドしてUSB端子を収納する。

USB ACアダプター（別売）につないで使う

USB ACアダプター（別売）を使って、本機と家庭用電源（コンセント）をつないで充電式電池を充電できます。充電をしながら本機を使用することができるため、長時間録音をする場合などに便利です。
はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「FULL」になるまで連続して充電してください。電池を使いきった状態から約3時間30分で充電が完了します。*

1 別売のUSB ACアダプターをコンセントにつなぐ。

2 本機のスライド式USB端子用つまみをスライドし、USB ACアダプターにつなぐ。

充電中は、電池マークがアニメーション表示されます。
充電しながら本機を使うことができます。

* 室温で電池残量が無い状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間と異なる場合があります。また、充電式電池の温度が低い場合や、データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

本機を取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、本機にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

1 録音や再生などの動作中の場合、■ 停止ボタンを押して動作を停止する。

2 録／再ランプが消えていることを確認する。

3 本機をUSB ACアダプターから取りはずし、USB ACアダプターをコンセントから抜く。

ご注意

- 録音中（録／再ランプが赤に点灯、点滅）やアクセス中（録／再ランプがオレンジに点滅）はコンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターから本機を抜き挿ししたり、本機を接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。また、用件数が多いと、起動画面が長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。
- USB ACアダプター（別売）使用時は、電池残量表示は表示されません。

使用上のご注意

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - ほこりの多いところ。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などで本機をポケットに入れての使用。
    身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
  - 汗をかく状況での使用。
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに本機を入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

主な仕様

必要なシステム構成

OS

- Windows Vista® Ultimate Service Pack1以降
- Windows Vista® Business Service Pack1以降
- Windows Vista® Home Premium Service Pack1以降
- Windows Vista® Home Basic Service Pack1以降
- Windows® XP Media Center Edition 2005 Service Pack3以降
- Windows® XP Media Center Edition 2004 Service Pack3以降
- Windows® XP Professional Service Pack3以降
- Windows® XP Home Edition Service Pack3以降
- Windows® 2000 Professional Service Pack4以降
- Mac OS X（v10.2.8-v10.5）
- 標準インストール（日本語版のみ）

ご注意

- 左記以外のOSは動作保証いたしません。（Windows® 98/Linuxなど）
- Windows® XPについては、64 bit版のOSは動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、ICレコーダーカスタマーサポートページ http://www.sony.co.jp/ic-rec-support をご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMacintosh

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート

ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、NEC PC-98シリーズとその互換機、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

Windows® 2000 Professionalをお使いの場合

本機に収録されているファイル「SonyRecorder_Driver.exe」を使ってドライバをインストールしてください。

本機の仕様

容量(ユーザー使用可能領域)
ICD-UX200：
　2 GB（約1.79 GB = 1,928,822,784 Byte）
ICD-UX300F：
　4 GB（約3.59 GB = 3,860,922,368 Byte）
ICD-UX400F：
　8 GB（約7.19 GB = 7,725,416,448 Byte）

メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

周波数範囲
ST：40 Hz〜20,000 Hz
STSP：40 Hz 〜 15,000 Hz
STLP：60 Hz〜7,500 Hz
SP：60 Hz〜10,000 Hz
LP：60 Hz〜3,400 Hz

MP3対応ビットレート、サンプリング周波数＊[1]
ビットレート：32 kbps 〜 320 kbps、
　可変ビットレート(VBR)対応
サンプリング周波数：
　16/22.05/24/32/44.1/48 kHz

＊[1] これに加えて本体の各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。
すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

WMA対応ビットレート、サンプリング周波数＊[2]
ビットレート：32 kbps 〜 192 kbps＊[3]、
　可変ビットレート(VBR)対応
サンプリング周波数：44.1 kHz

＊[2] WMA Ver.8 Class2Aに準拠していますが、MBR（Multi Bit Rate）、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。
著作権保護されたファイルは再生できません。
すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

＊[3] NoiseSubstitution機能には対応していないため、ビットレート32 kbpsでは簡易再生となります。

AAC-LC対応ビットレート、サンプリング周波数＊[4]
ビットレート：16 kbps 〜 320 kbps、
　可変ビットレート(VBR)対応
サンプリング周波数：
　11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz

＊[4] 著作権保護されたファイルは再生できません。
すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

FMラジオ受信周波数
76.0 MHz 〜 90.0 MHz
IF 150 kHz

FMアンテナ
ステレオイヤーレシーバーコードアンテナ

スピーカー
直径16 mm

入・出力端子
外部入力(ステレオミニジャック)
　プラグインパワー対応
　最小入力レベル：0.9 mV
ヘッドホン(ステレオミニジャック)
　負荷インピーダンス：8 Ω〜300 Ω
USB端子
　High-Speed USB対応

再生スピード調節（DPC）
＋100%～－50%（MP3）
0%～－50%（WMA/AAC-LC）

実用最大出力
90 mW

電源
DC1.2 V、単4形充電式ニッケル水素電池（付属）1本
DC1.5 V、単4形アルカリ乾電池（別売）1本

動作温度
5℃～ 35℃

最大外形寸法
約36.6 mm×98.5 mm×14.6 mm（幅／高さ／奥行き）（JEITA*5）

質量
約58 g（充電式ニッケル水素電池1本含む）（JEITA*5）

*5 電子産業技術協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

付属品
7ページ参照

別売アクセサリー
アクティブスピーカー SRS-M50
エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-DS70P、ECM-DS30P、ECM-TL1
オーディオコード RK-G136/G139
充電式ニッケル水素充電池単4形 NH-AAA-2BKA
USB充電AC電源アダプター AC-U50AD
ニッケル水素電池専用充電器 BCG-34HRES

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間[*6*7]

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

	STモード	STSPモード	STLPモード	SPモード	LPモード
ICD-UX200	22時間15分	33時間25分	89時間15分	133時間55分	535時間45分
ICD-UX300F	44時間40分	67時間	178時間40分	268時間5分	1,072時間25分
ICD-UX400F	89時間20分	134時間5分	357時間35分	536時間25分	2,145時間55分

*6 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは乾電池の持続時間(90ページ)をご確認ください。

*7 録音モードを混在して録音した場合、最大録音時間は任意に変化します。

電池の持続時間

充電式電池の持続時間[*1](ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時)

	ST モード[*2]	STSP モード[*3]	STLP モード[*4]	SP モード[*5]	LP モード[*6]	音楽ファイル (128 kbps/ 44.1 kHz)
録音時	約11時間	約11時間 30分	約14時間	約12時間	約14時間 30分	ー
スピーカー再生時[*7]	約20時間	約20時間 30分	約22時間	約21時間 30分	約21時間	約20時間 30分
ヘッドホン再生時	約42時間	約43時間 30分	約49時間 30分	約50時間	約53時間 30分	約43時間 30分
FM録音時	約3時間 30分	約4時間 30分	約4時間	約4時間	約5時間	ー

FM受信:約6時間

乾電池の持続時間[*1]（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）を連続使用時）

	ST **モード**[*2]	STSP **モード**[*3]	STLP **モード**[*4]	SP **モード**[*5]	LP **モード**[*6]	**音楽ファイル** （128 kbps/ 44.1 kHz）
録音時	約11時間	約12時間	約15時間	約12時間 30分	約15時間	－
スピーカー再生時[*7]	約26時間 30分	約27時間 30分	約29時間	約28時間 30分	約30時間	約27時間 30分
ヘッドホン再生時	約63時間	約67時間	約75時間 30分	約75時間	約83時間	約67時間
FM録音時	約3時間 30分	約4時間 30分	約4時間	約4時間	約5時間	－

FM受信：約7時間30分

*1 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用条件によって短くなる場合があります。
*2 STモード：ステレオ高音質モード
*3 STSPモード：ステレオ標準モード
*4 STLPモード：ステレオ長時間モード
*5 SPモード：モノラル標準モード
*6 LPモード：モノラル長時間モード
*7 音量レベルを15に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(裏表紙)、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のICレコーダー・カスタマーサポートページをご覧いただくか、ソニーの相談窓口(裏表紙)までお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、91ページをご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

こんなときは

症状	原因／処置
電源が切れない。	• 停止中にホールド／電源スイッチを「電源」の方向へ2秒以上スライドする(12ページ)。
電源が入らない。	• 電源がオフになっている。 → ホールド／電源スイッチを「電源」の方向へ1秒以上スライドする(12ページ)。
電源が自動的に切れる。	• 操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。(お買い上げ時は、設定は10分になっています。)メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます。(72ページ)
液晶表示が消えない。 表示が2重に見える。	• 保護シートが付いていませんか? → フィルムを剥がしてお使いください。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しくない(9ページ)。 • 電池が消耗している(11ページ)。 • 電源がオフになっている。 → ホールド／電源スイッチを「電源」の方向へ1秒以上スライドする(12ページ)。 • ホールドがオンになっている。 → ホールド／電源スイッチを中央位置にスライドする(15ページ)。

症状	原因／処置
スピーカーから音が出ない。	• 音量が絞られている（21ページ）。 • イヤーレシーバーをつないでいる（39ページ）。 • FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「イヤーレシーバー」に設定されている。 →「スピーカー」に切り換える（55ページ）。
イヤーレシーバーをつないでいても、スピーカーから音が出る。	• 再生中にイヤーレシーバーを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんイヤーレシーバーを抜いて、最後までしっかり差し込む。 • FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「イヤーレシーバー」に設定されている。 →「スピーカー」に切り換える（55ページ）。
録／再ランプが点灯しない。	• メニューの「LED」が「オフ」に設定されている。 →「オン」に切り換える（72ページ）。
「メモリーが一杯です」が表示され、録音できない。	• メモリーがいっぱいになっている。 → 不要な用件を消去する（24ページ）か、パソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。
「用件が一杯です」が表示され、操作できない。	• 選んだフォルダ（ ）に99件の用件が入っているか、または、全体で990件の用件（フォルダが10個のとき）が入っているため、録音や用件移動ができない。 → 不要な用件を消去する（24ページ）か、パソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。
録音が途中で止まる。	• VORが作動している。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にする（30ページ）。
雑音が入る。	• 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 • 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 • 外部マイク（別売）で録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • イヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーのプラグが汚れている。 → プラグをきれいにクリーニングする。
録音レベルが小さい。	• マイク感度が「口述 」になっている。 →「会議 」または「高感度 」に切り換える（27ページ）。

症状	原因／処置
VOR機能が働かない。	• シンクロ録音が作動している(35ページ)。 → シンクロ録音を使用しないときは、メニューで「オフ」にする(73ページ)。 • FMラジオを録音している。FM録音中はVOR機能は無効となります。
用件を分割できない。	• メモリーに一定の空き容量がない。 • 選んだフォルダ( )に99件の用件が入っている。 → 不要な用件を消去する(24ページ)か、パソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。 • シンクロ録音が作動している(35ページ)。 → シンクロ録音を使用しないときは、メニューで「オフ」にする(73ページ)。 • システムの制約により、用件のはじめと終わりで用件分割できないことがあります。 • 本機で録音されたファイル以外(パソコンなどで転送したMP3ファイルやWMAファイル、AAC-LCファイル)は、分割、移動などはできません。 • 頻繁に用件を分割すると、分割ができなくなることがあります。
他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	• 他の機器のヘッドホン端子を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	• DPC（速度調節)スイッチが「入」になっているため、コントロールボタンの ▲ または ▼ で調節した再生スピードで再生されている。 → DPC（速度調節)スイッチを「切」にする(40ページ)と、通常の速度で再生されます。または、コントロールボタンの ▲ または ▼ で再生スピードを調節してください。
時計表示が「--:--」になる。	• 時計を合わせていない(13ページ)。
録音日時表示が「--y--m --d」または「--:--」になる。	• 時計を合わせていないときに録音した用件には、録音した日付は表示されません。
メニュー表示の項目が足りない。	• 再生、録音、またはFMラジオ受信中は、表示されないメニューがあります(66ページ)。
電池の持続時間が短い。	• 89ページの乾電池の持続時間は、音量レベルを15で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。

症状	原因／処置
電池を入れたまま長い期間使用しない後で、使おうとすると電池がなくなっている。	• 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間ご使用にならない場合は、こまめに電源を切る（12ページ）か、電池をはずしておくことをおすすめします。また、オートパワーオフ設定（72ページ）時間を短くしておくと切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。
充電完了後、長い期間USB ACアダプターにつないだままにすると、はずしたときに電池がなくなっている。	• 一度充電完了したあとは、つないだままにしていても自動的に再充電は行いません。USB ACアダプターにつないでいる間は本機を使用することができますが、はずしたあとは再充電してください。
充電表示が表示されない。	• 充電式電池が入っていないか、充電式電池以外の電池（アルカリ電池、マンガン電池など）が入っている。 • 充電式電池を入れる向きが正しくない。 • メニューで「詳細メニュー」の「USB充電」が「オフ」になっている。パソコンに接続して充電する場合は、設定を「オン」にする（72ページ）。 • 内蔵スピーカーで再生中やFMラジオ受信中は充電できません。
途中で充電表示が消えてしまう。	• ニッケル水素以外の充電式電池または充電式電池以外の電池（アルカリ電池、マンガン電池など）が入っている。 • 劣化した充電式電池を使用している。 • 内蔵スピーカーで再生中やFMラジオ受信中は充電できません。
電池残量、充電表示部に COLD または HOT が点滅表示している。	• 本機の充電可能な温度範囲外になっている。周囲温度が動作温度（5℃～ 35℃）になるようにする。
充電式電池の持続時間が短い。	• 5℃以下の環境で使用している。電池の特性によるもので故障ではありません。 • しばらく使用していなかった。何回か充電、放電（本機に入れて使用する）を繰り返す。 • 充電式電池の交換が必要です。新しい充電式電池と交換する。 • 短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量が無い状態からフル充電までは約3時間30分かかります。
変更したメニュー設定が反映されていない。	• 設定変更直後に電池が抜かれた場合、本機のメニュー設定が反映されないことがあります。

症状	原因／処置
パソコンで充電できない。	• 起動しないパソコンに接続しても充電できません。 • パソコンが起動していても、休止状態(スタンバイ、スリープ)のときは充電できません。 • メニューで「詳細メニュー」の「USB充電」が「オフ」になっている。 → パソコンに接続して充電する場合は、設定を「オン」にする。 • パソコンから本機をはずし、再度接続してください。 • 本機が対応しているシステム構成(86ページ)以外では、動作保証はいたしかねます。 • FMラジオ受信中は充電できません。
FMラジオ受信中、音声が小さいまたは音質がよくない。	• 電池が消耗している。 → 新しい電池に交換してください(9ページ)。 • テレビから離してお使いください。
テレビの画像が乱れる。	• 室内アンテナを使用しているテレビの近くでFMラジオを受信している場合は、テレビから離れてください。
FMラジオの放送局を受信できない、雑音が聞こえる。	• ステレオイヤーレシーバーをつないでいない。付属のステレオイヤーレシーバーがFMアンテナの役割をします。 • ステレオイヤーレシーバーを 🎧 (ヘッドホン)ジャックにつなぎ、コードをのばしてください。 • メニューで「DX/LOCAL」が「LOCAL」になっている。設定を「DX」にする(71ページ)。
FMラジオ放送がプリセット登録できない。	• FMラジオ放送局が30件登録されている。 → プリセット登録を削除する(62ページ)。 • メニューで「スキャン感度」が「低(SCAN L)」になっている。設定を「高(SCAN H)」にする(59ページ)。
起動に時間がかかる。	• 用件数が多いと、起動するのに時間がかかることがありますが、故障ではありません。停止画面になるまでお待ちください。
正常に動作しない。	• 電池を取り出して、もう一度入れ直す。
本機が動作しない。	• パソコンで初期化(フォーマット)している。 → 本機で初期化を行ってください(73ページ)。

症状	原因／処置
パソコンで認識しない。 パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。	• パソコンから本機をはずし、再度接続してください。 • 付属のUSB接続補助ケーブル以外のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、本機を直接、または付属のUSB接続補助ケーブルを使って接続してください。 • 本機が対応しているシステム構成（86ページ）以外では、動作保証はいたしかねます。 • お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。
転送したファイルが再生できない。	• 転送したファイルが本機で再生可能なファイル形式（MP3/WMA/AAC-LC）と異なる。
パソコンが起動しない。	• 本機をパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。 → 本機をパソコンからはずして起動してください。

エラー表示一覧

エラー表示	原因
電池が残りわずかです	• 電池が残りわずかのため、フォーマットやフォルダ内消去ができません。新しい電池の準備をしてください。
電池残量がありません	• 電池が消耗しています。新しい単4形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は充電するか、充電済みの電池と取り換えてください。
メモリーが一杯です	• 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかの用件を消去してからやり直してください。
用件が一杯です	• フォルダ内の用件の合計か、全体の用件数が最大になったため、新規の用件を作成できません。いくつかの用件を消去してからやり直してください。
ファイルが壊れています	• 選んだファイルのデータが破損しているので、再生や編集ができません。
本機でフォーマットが必要です	• パソコンで本機をフォーマットしたためUSB接続で電源を入れようとしても、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューで本機のフォーマットをしてください。パソコンでフォーマットしないでください。
処理を継続できません	• メモリーの読み取りに失敗しました。電池を抜き差ししてみてください。 • 必要なデータをバックアップしてからメニューで本機をフォーマットしてください。 • 上記以外の場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。
時計を設定してください	• 時計合わせをしていないと、アラームは設定できません。
用件がありません	• 選んだ用件フォルダには1件も用件が録音されていません。用件移動とアラーム再生の設定などの操作ができません。
既に設定済みです	• 選んだ用件には既にアラーム再生が設定されています。別の用件を選択してください。 • 既に別の用件で同じ日時にアラーム再生が設定されています。設定を変更してください。
過去の日時です	• 現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください。
登録がありません。	• アラーム設定を1件もしていない場合は、「アラーム一覧」は表示できません。アラーム設定を「新規」で設定してください。

エラー表示	原因
登録が一杯です。	• アラーム登録は30件までです。未使用のアラーム設定を解除してください。 • FMラジオのプリセット登録は30件までです。未使用のプリセット登録を解除してください。
ファイルが保護されています	• 選んだ用件が保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。消去などができません。本機で保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性をはずすと、操作できるようになります。
非対応のデータです	• 本機で対応していないファイル形式のデータです。本機が対応しているファイル形式（拡張子）は、MP3ファイル（.mp3）、WMAファイル（.wma）、AAC-LCファイル（.m4a）となります。詳しくは本機の仕様をご覧ください（87ページ）。 • 著作権保護されたファイルは再生できません。
操作できません	• 複数のフォルダに同じファイル名の用件が保存されているため、用件移動や用件分割ができません。ファイル名を変更してください。 • フォルダ内の用件は、用件移動や用件分割ができません。 • 本機で録音した用件以外は、用件分割ができません。
新しい用件で録音を継続します	• 録音中の用件がファイルサイズの上限（1 GB）に達しています。用件は自動的に分割され、録音を継続します。
フォルダを切り換えます	• で表示されるフォルダに用件がひとつもない場合、フォルダが表示できないため、表示できるフォルダに切り換えます。
故障です	• 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池をはずし、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口（裏表紙）までご連絡ください。
ノイズカット設定時は無効です。	• ノイズカットを設定している場合は、エフェクト設定よりも優先されます。ノイズカット設定を解除してください。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
最大録音時間まで録音できない。	• STモード、STSPモード、STLPモード、SPモード、LPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間はSTモードとLPモードの最大録音時間の間になります。 • 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。
音楽ファイルを順番に表示、再生できない。	• パソコンを使って、本機に転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつ本機にコピーすると、表示、再生の順番を転送順に合わせることができます。
録音中に自動的に分割されてしまう。	• 録音中の用件または音楽がファイルサイズの上限（1 GB）に達しています。用件は自動的に分割されます。
英文字がすべて大文字になってしまう。	• パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。
フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名に「□」が表示される。	• 本機で表示できない文字が使用されています。パソコンで本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。
A-Bリピート設定でB点が設定できない。	• A点より前にB点を設定することはできません。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	• ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。

表示窓について

停止／録音時

1 経過時間、残り時間、録音日付、録音時刻表示

2 (　)フォルダ名、用件タイトル名、アーティスト名、ファイル名表示
コントロールボタンの▲または▼を押して、フォルダ名、用件タイトル名、アーティスト名、ファイル名を順に表示できます。

3 録音可能時間表示
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合：時間
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒

4 動作モード表示
本機の動作状態に応じて下記のように表示されます。
■：停止中
▶：再生中
録音：録音中
●II：録音一時停止中に点滅
録音 VOR：VOR録音中
●II VOR：VOR録音一時停止中に点滅
VOR録音を「オン」にしているときに●録音／一時停止ボタンを押して録音を一時停止すると ●II だけが点滅します。
録音 SYNC：シンクロ録音中
●II SYNC：シンクロ録音一時停止中に点滅
◀◀ ▶▶：早戻し／早送り再生中
I◀◀ ▶▶I：連続用件戻し／送り

5 録音モード表示
停止中はメニューで設定されている録音モードが、再生中または録音中はその用件の録音モードが表示されます。
ST：ステレオ高音質モード
STSP：ステレオ標準モード
STLP：ステレオ長時間モード
SP：モノラル標準モード
LP：モノラル長時間モード

パソコンなどから転送されたファイルでは、下記のように表示されます。

MP3：転送されたMP3ファイル

WMA：転送されたWMAファイル

AAC：転送されたAAC-LCファイル

録音モード情報を取得できないときは、下記のように表示されます。

---：不明

6 位置情報表示
選んだ用件番号が分子にフォルダ内の総用件数が分母に表示されます。

7 マイク感度表示
録音時のマイクの感度が表示されます。

：口述録音モード

：会議録音モード

：高感度録音モード

8 保護マーク
用件が保護設定されているとき表示されます。

9 アラーム表示
用件にアラームが設定されているとき表示されます。

10 LCF表示
「LCF(Low Cut)」が「オン」に設定されているときに表示されます。

11 電池マーク
乾電池を使用しているときは電池残量が表示されます。
充電式電池を充電中にはアニメーション表示になります。

再生時

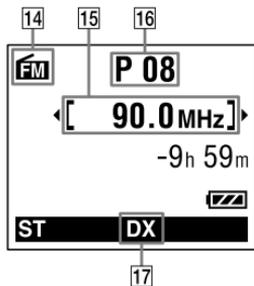
12 ノイズカット／エフェクト
用件の音質を切り替えているとき表示されます。

N-CUT：ノイズカット
P：ポップス
R：ロック
J：ジャズ
BA1：ベース1
BA2：ベース2
C：カスタム

13 リピート表示

1：1件用件リピート
：フォルダ内用件リピート
ALL：全用件リピート

FMラジオ受信時

（ICD-UX300F/UX400Fのみ）

14 FMマーク

15 周波数

16 プリセット番号

17 FM感度

LOCAL：LOCAL
DX：DX

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤーレシーバーで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
  また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、コンピューターなどに保存してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド(Ni-Cd)
ニッケル水素(Ni-MH)
リチウムイオン(Li-ion)

乾電池
アルカリ、マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

⚠危険 **充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき**

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と−を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間USB ACアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

⚠警告　乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、USB ACアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意　乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

索引

数字、記号、アルファベット順

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→ICレコーダー・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/ic-rec-support)
  ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話・FAXでのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号)**
  - 本機の商品カテゴリーは[ICレコーダー]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時:
    - 型名:ICD-UX200/UX300F/UX400F
    - シリアルナンバー:電池ボックス内
    - ご相談内容:できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時:
    質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口	フリーダイヤル	**0120-333-020**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2511**
修理相談窓口	フリーダイヤル	**0120-222-330**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2531**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」 を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通)0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

* 4 1 5 6 5 4 6 0 3 * (1)